

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	緊急時の対応について、より明確にしておく。全員が身につける必要がある。	事故・急変・感染症発生の対応(特に初期対応)についてすべての職員が把握し、実践することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルの見直し・整備 マニュアルの読み合わせを通じた共通理解。 マニュアルを題材としたロールプレイ学習。 実践の振り返り。 心配に感じる対応の聞き取りと学習強化。 基本的な介護技術の習得・向上のため研修等に参加する。または、伝達的に施設内で学習する。 	7ヶ月
2	19	家族への報告、相談、生活に関する要望の把握情報交換、生活歴の聴き取り等は、面会、行事、家族会時等に行ってはいるが十分とは言えない(特に事情により面会の少ない家族、遠方の家族等)。	職員⇄家族の双方向的な情報交換を密にし、思いを共有することでより良い関係、一緒に本人を支えていくという信頼関係を築くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 面会時、行事や家族会の時、遠方やなかなか面会等に来られない家族には電話で利用者の日頃の様子や支援の方法について伝え、家族の意見を聴く。 家族から得た情報は「センター方式」のシートに追記していく。 サービス担当者会議の際、家族に参加していただく。 	6ヶ月
3	36	一人ひとりの人格を尊重する、プライバシーに配慮することについては、利用者全員の方にできているか、職員全員に徹底しているかという点十分とは言えない。	基本的な人格・人権尊重に対する考え方・姿勢を職員全員が共有し実践することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育、接遇教育の定期実施。 自己チェックの実施。 一人ひとりに合ったかかわり、声のかけ方についての話し合いを行う。(職員間、家族とも) 	7ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。